

# 平成 27 年度事業報告

# I. (公1) 軟式野球大会開催事業

## ア. 軟式野球大会開催事業

### 1. 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第70回 全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	9月11日(金) ～16日(水)	四日市市他	57	京都府・SECカーボン㈱
高松宮賜杯第59回 全日本軟式野球大会	1部 9月25日(金) ～28日(月)	旭川市他	32	埼玉県・埼玉西部消防局
	2部 10月16日(金) ～19日(月)	高松市他	32	東京都・ヤマカミ
高円宮賜杯第35回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月6日(金) ～12日(木)	新宿区他	51	大阪府・長曽根ストロングス
文部科学大臣杯第6回 全日本少年春季軟式野球大会	3月20日(金) ～23日(月)	静岡市他	32	宮崎県・門川中学校
第32回全日本少年軟式野球大会	8月9日(日)～ 13日(木)	横浜スタジアム	16	沖縄県・豊見城市立豊見城中学校
第70回国民体育大会 (紀の国わかやま国体)	成年男子 10月1日(木) ～5日(火)	田辺市他	32	埼玉県・パイオニア株式会社
第37回 東日本軟式野球大会	1部 6月12日(金) ～15日(月)	中山町他	29	岐阜県・河上薬品
	2部 5月22日(金) ～25日(月)	能代市他	29	埼玉県・飯能信用金庫
第37回 西日本軟式野球大会	1部 5月15日(金) ～18日(月)	熊本市他	26	滋賀県・BABE RUTH
	2部 6月19日(金) ～22日(月)	彦根市他	26	滋賀県・TOPS。
水戸市長旗 第23回東日本軟式野球選手権大会	10月30日(金) ～11月3日(火)	水戸市他	28	東京都・刈穂ソフトボール倶楽部
第19回 西日本軟式野球選手権大会	11月13日(金) ～16日(月)	鹿児島市他	27	奈良県・佐藤薬品工業株式会社
第60回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月6日(金) ～9日(月)	豊田市	13	愛知県・フタバ産業株式会社
NPB ガールズトーナメント 2015	8月8日(土) ～13日(木)	さいたま市他	38	富山県・アルペンガールズ富山
日本スポーツマスターズ 2015	9月18日(金) ～21日(月)	七尾市他	32	富山県・高岡DREAMS
第37回 全国中学校軟式野球大会	8月19日(水) ～22日(土)	福島市他	25	宮崎県・門川町立門川中学校
第37回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月1日(土) ～4日(火)	鳴門市他	16	大阪府・新家クラブ少年団

## 国体総合成績（天皇杯得点）

1位	埼玉県	74点	5位	高知県	42点
2位	神奈川県	66点	6位	北海道	34点
3位	奈良県	58点	7位	福島県	26点
4位	京都府	50点	8位	岡山県	18点

## 2. 寄付金関係

以下のとおり、各団体、企業より寄付を受けた。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| (1) (公財)日本高野連・朝日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (2) (公財)日本高野連・毎日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (3) 株式会社 エス・エス・ケイ   | 1,500,000 円 |
| (4) ヤング(株)          | 300,000 円   |
| (5) 株式会社共同写真企画      | 1,000,000 円 |

## 3. 助成金関係

以下のとおり、各団体より助成金の交付を受けた。

- |   |             |                 |
|---|-------------|-----------------|
| (1) 国体派遣役員旅費                              | 1,093,900 円 | 日体協             |
| (2) 選手強化事業交付金（平成26年度分）                    | 500,000 円   | JOC             |
| (3) 少年野球振興事業助成                            | 1,000,000 円 | (公財)ミズノスポーツ振興財団 |
| (4) スポーツ普及奨励助成事業                          | 700,000 円   | (公財)スポーツ安全協会    |
| (5) スポーツ振興くじ助成<br>（指導者講習会事業及びドレーピング検査事業分） | 2,790,000 円 | (独)日本スポーツ振興センター |

## 4. 協賛金関係

以下のとおり、各団体、企業より協賛を受けた。（金額は税込表示）

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルド・カップ大会を実施した支部への助成金として、総額 54,540,000 円、全日本学童大会撮影費として 1,123,200 円の協賛を受けた。
- (2) J X 日鉱日石エネルギー(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への助成金として総額 21,600,000 円の協賛を受けた。
- (3) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、総額 1,701,000 円の協賛を受けた。
- (4) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より

- 1,000,000 円の協賛を受けた。
- (5) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
  - (6) (株)アシックスジャパンより全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
  - (7) (一社) 日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し 540,000 円、「NPB ガールズトーナメント 2015」への協力に対し 7,020,000 円、「NPB オールスターゲーム」への広報活動協力に対し 540,000 円の協賛を受けた。
  - (8) 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

## 5. 協賛金・助成金交付

- (1) 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 13,303,400 円交付した。
- (2) マクドナルド・カップ大会を実施した 25 支部に対し、総額 2,500,000 円を交付した。
- (3) 47 支部に対して ENEOS 協賛金を総額 6,111,700 円交付した。
- (4) 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を 300,000 円交付した。
- (5) ろうきん杯を実施した 5 支部に対し、総額 1,550,000 円を交付した。
- (6) 全日本少年大会に対し、スポーツ安全協会助成金を 400,000 円交付した。

## 6. ドーピング検査の実施

以下 3 大会にてドーピング検査を実施し、全て陰性であった。

- (1) 第 70 回国民体育大会 (4 検体) ※国体全競技 216 検体・28 競技
- (2) 天皇賜杯第 70 回大会 (8 検体)
- (3) 第 19 回西日本軟式野球選手権大会 (4 検体)

## 7. メディカルサポートの実施

高円宮賜杯第 35 回全日本学童軟式野球大会準々決勝進出 8 チーム、準決勝進出 4 チームに対して理学療法士延べ 18 名、及び第 32 回全日本少年軟式野球大会の準々決勝進出 8 チームに対し理学療法士 6 名をそれぞれ派遣し、試合後、選手へのクールダウンの指導、投手へのアイシングの指導などのメディカルサポートを実施した。

## イ. 審判員等養成事業

### 1. 全国技術指導員研修会及び全国技術研修員講習会の実施

下表のとおり、事業を実施した。

名 称	期 日	場 所	参 加 者		修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	宮城県・仙台市	審判技術指導員	22名	
関東地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	28名	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	岐阜県・大垣市	審判技術指導員	31名	
近畿・中国・四国・九州地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	広島県・広島市	審判技術指導員	60名	
技術研修員講習会	2月27日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	27名	11名

### 2. ブロック審判講習会の実施

下表のとおり事業を実施した。

ブロック	会期	会場	受講者
北海道	5月8日～3日間	北海道・札幌市	60名
東北	3月20日～3日間	福島県・福島市	42名
関東	3月13日～3日間	埼玉県・さいたま市	40名
北信越	10月23日～3日間	石川県・金沢市	26名
東海	11月14日～3日間	愛知県・蒲郡市	20名
近畿	11月20日～3日間	京都府・城陽市	36名
中国	3月27日～3日間	山口県・山口市	35名
四国	10月10日～3日間	徳島県・徳島市	18名
九州	3月20日～3日間	大分県・別府市	16名
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名（一般登録2千以上） 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名（一般登録1千以上） 他各3名		

## ウ. 公式軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

### 1. 競技者必携

支部その他に、61,943部を有償、無償で54部を頒布した。

### 2. 公認野球規則

支部、その他に50,873部を有償、無償で27部を頒布した。

## Ⅱ. (公2) 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

### ア. 各種軟式野球大会普及促進助成事業

#### 1. 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として各団体に対し総額 3,650,000 円を交付した。

全日本大学軟式野球協会	1,000,000 円
公益財団法人日本高等学校野球連盟	1,000,000 円
全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟	500,000 円
全日本ろう社会人野球連盟	200,000 円
全国官公庁野球連盟	100,000 円
全日本女子軟式野球連盟	250,000 円
全国専門学校野球連盟	250,000 円
全日本還暦野球連盟	250,000 円
アオダモ資源育成の会	100,000 円

#### 2. 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 26 事業を後援した。

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、  
全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (公社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- (14) (一財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (15) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (16) 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- (17) 親と子どものふれあいつースペースボール大会
- (18) 全国官公庁野球大会

- (19) 15U 全国 KWB 野球選手権大会 in 伊豆、U15 全国女子 KWB 野球選手権大会 in 伊豆、15U 全国 KWB 野球秋季大会(男子の部、女子の部)
- (20) 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- (21) ダイワハウス全国少年少女野球教室
- (22) ゼビオドリームカップ 2015
- (23) 全国ガス野球大会
- (24) ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- (25) 阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会 2015
- (26) BFA U15 アジア野球選手権大会

## イ. スポーツ指導者養成事業

### 1. 日本体育協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

受講生 24 名（専門科目修了者は 19 名）を集め実施し、全日程を終了した。

前期：11 月 21 日（土）～22 日（日） 神奈川県横浜市

後期：12 月 11 日（金）～13 日（日） 東京都渋谷区

### 2. 助成金

日体協より、スポーツ指導者養成事業交付金（H26 年度分）として 138,000 円、公認コーチ養成専門科目講習会委託金（H26 年度分）907,050 円の助成を受けた。

### 3. 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会として、チーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施した。

	開催地	日程	会場
北海道	函館	2 月 15 日（日）	函館市勤労者総合福祉センター
東北	仙台	2 月 15 日（日）	宮城自治労会館
関東	埼玉	2 月 14 日（土）	プラザノース 多目的ホール
北信越	新潟	1 月 25 日（日）	HARD OFF ECO スタジアム新潟 会議室
東海	岐阜	2 月 8 日（日）	大垣市情報工房 5F スイックホール
近畿	大阪	3 月 14 日（土）	大阪市立浪速区民センター 1 階「ホール」
四国	高知	1 月 31 日（土）	高知県教育センター分館
中国	山口	2 月 14 日（土）	周南市総合スポーツセンター
九州	宮崎	1 月 11 日（日）	KIRISHIMA ツワブキ武道館

## ウ. 広報活動事業

### 1. 連盟ホームページの活用

例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

### 2. 学童向け広報誌の発行

ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童向けの広報誌を1回発行、各都道府県支部の協力のもと、学童登録チームへ配布を行った。

### 3. Facebookによる情報発信

前年7月より公式Facebookの運用をスタート。組み合わせ抽選会、大会等、これまで以上に迅速な情報発信を行った。

## Ⅲ. (収1) 野球用具検定事業

### 1. 用具公認社の契約更新について

公認社17社との用具公認に関する契約を更新した。

### 2. 公認用具の普及

全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球10ダースを提供した。

## Ⅳ. (収2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の1階、2階、5階スペースを賃貸。  
賃貸料等収入 17,293,080円

## Ⅴ. (収3) 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。  
制定物品販売高収入 4,640,514円

## VI. その他連盟が推進する事業・活動

### 1. 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より 12 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成 27 年 12 月末までの復帰者総計 12 名。(40 歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
506	大阪	土井 健大	読売ジャイアンツ
507	広島	田中 慎太郎	阪神タイガース
508	広島	佐伯 和司	広島東洋カープ
509	新潟	田中 健太郎	読売ジャイアンツ
510	茨城	山中 律俊	南海ホークス
511	千葉	星 秀和	西武ライオンズ
512	千葉	谷内田 敦士	読売ジャイアンツ
513	静岡	林 昌樹	広島東洋カープ
514	神奈川	宮本 和知	読売ジャイアンツ
515	長野	村上 雅則	西武ライオンズ
516	岩手	三浦 翔太	福岡ソフトバンクホークス
517	北海道	神保 貴宏	東北楽天イーグルス

### 2. 表彰関係

(1) 表彰委員会規程による表彰

27 年度の功労者 (15 名) の皆様を本評議員会の席上にて表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	村本 和夫(北海道)
東北	2	小林 茂(宮城)・松川 貴志(福島)
関東	2	川堀 一郎(茨城)・牧野 勝行(東京)
北信越	2	木田 學(石川)・池田 俊樹(福井)
東海	2	森村 謙司(静岡)・高柳 力(愛知)
近畿	2	水口 節治(大阪)・藤田 紀(兵庫)
中国	1	富永 茂巳(山口)
四国	1	宮内 将(愛媛)
九州	2	古賀 盛夫(佐賀)・前西原 裕(沖縄)
計	15	

- (2) 読売新聞社主催 平成 27 年度第 65 回日本スポーツ賞  
競技団体別最優秀賞 …………… SECカーボン株 (京都府)
- (3) 黄綬褒章 …………… 一 祥雅 評議員 (熊本)

### 3. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を主に JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プログラムに参加する形で、20 ヶ国に寄贈した。

2020 年東京オリンピック開催に向けた文部科学省、外務省の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムの振興により、野球を含む JICA スポーツ隊員の派遣が増加しており、野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に JICA とも情報共有し、野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。